

第 11 回 土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時：平成 19 年 3 月 15 日（木）10：00～12：00

2. 開催場所：日本電気協会 4C 会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：衣笠主査（東京工業大学），西副主査（電中研），金谷（関西電力）、大宮（東北電力），酒井（東京電力）仲田（中部電力），高橋（四国電力・大内代理），川本（中国電力）生貞（九州電力），玉田（日本原電・北川代理）
- 河野（電源開発・伴代理） 金津（電中研） （計 12 名）
- 常時参加者：武田（東京電力） （計 1 名）
- オブザーバ：花田（日本原子力技術協会） （計 1 名）
- 事務局：荒木（日本電気協会） （計 1 名）

4. 配布資料

資料 No.11-1 第 10 回 土木構造物検討会議事録（案）

資料 No.11-2-1 JEAG4601「基準地震動策定・地質調査編」に関する書面投票結果について

資料 No.11-2-2 JEAG4601「基準地震動策定・地質調査編」の原子力規格委員会書面投票におけるコメントおよび対応

参考資料-1 第 10 回土木構造物検討会以降の状況

参考資料-2 JEAG4601 改定における仕様規定化の対応方針(案)

5. 議事

(1) 検討会出席者の確認及び前回議事録（案）の確認について

事務局より、本日の代理出席者は 3 名であり、代理出席者については規約に基づき衣笠主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は 12 名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の 2 / 3 以上の出席であることが確認された。

また、事務局より前回議事録（案）の紹介を行い一部修正することとし、出席者全員の賛成で了承された。

(2) 基準地震動策定・地質調査編の原子力規格委員会書面投票におけるコメント対応

資料 No.11-2-1 により、原子力規格委員会書面投票結果を紹介した後、資料 No.11-2-2 によりコメント対応案の説明が行われた。本対応案を次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

・No1 の規格委員会委員コメントは、本指針がガイドなのに仕様規定を要求しているようだが、コメントの全文が記載されているのか。 コメント全文である。

・ No.2 の規格委員会委員コメントで、自由度が大きくなることを指摘しているが、地質調査は色々な方法を駆使してやるべきと考える。

・ No.9 の規格委員会委員コメントで「必要に応じてを削除」の指摘は、後期更新世の活動性が否定できない断層であって、安定性評価上重要な断層まで対象にするのは過剰にならないか。地盤のモデル化時に工学的な判断で断層を延ばして評価する場合がある。

「断層の存在の确实性、位置、連続性、形状等を検討」の主旨は、「全て調査で明らかにする」と言う意味ではなく、「工学的判断により保守的に評価する」という主旨であり、本修正案で問題ないと考ええる。

(3) その他

次回検討会は、5月とし別途調整することとした。

以 上